

～たかのす校地域支援だより～

ONE



第2号

令和7年8月8日発行

秋田県立比内支援学校たかのす校
地域支援部



学校間交流を行いました！



小学部が清鷹小学校と学校間交流を行いました。清鷹小学校との交流は年2回計画されており、1回目となる今回は清鷹小学校を会場として行いました。



みんなで手をつなぎ、フラフープくぐりをしました。励ましの言葉を掛け合っています。

ペットボトルキャップと段ボールを使ったゲームをしました。アドバイスをもらい、夢中でやっています。



音楽に合わせたダンス&玉入れゲームをしました。ボールを全部入れるために、協力しています。

1回目の交流のため、お互いに少し緊張する様子も見られましたが、ゲームなどを通して楽しみながらお互いのことを知ることができました。次回の交流は12月にたかのす校で行います。

障害理解授業について

学校間交流や居住地校交流は、地域の学校にとって、障害に対する理解を深めるとともに、障害のある幼児児童生徒に対して、自分たちや周囲がどのような配慮をすればよいのかを考えたり学んだりする機会となります。そこで交流を行うにあたり、対象である小中学校の児童を対象に障害理解授業を実施しています。

友達のよいところを見つける「大きい目」



気持ちを伝える「優しい口」

いいね！ ありがとう！
最後まで だいじょうぶ？
がんばったね！

たかのす校の友達について

たかのす校には
いろいろな人が
います 清鷹小学校
4年生も
いろいろな人が
います

「〇〇が好きな、
わたしといっしょだね！」 「自分はこうだけど、
〇〇さんはこうなんだ！」

「同じ」ってうれしい！
「ちがう」ってたのしい！

障害理解授業で使用したスライドの一部

障害理解授業を実施する際は、事前に担任の先生と打ち合わせ等を行い、一緒に授業内容の検討、実施をします。授業の構成や教材は、学年やねらいに応じて設定しており、絵本やゲーム形式などを交えた授業も行っています。



障害理解授業をやってみませんか？
障害理解授業を希望される場合は
たかのす校へご連絡ください。



たかのす校の学習紹介 — 将来につながる学習 —

進路に関する学習や情報等についての相談、要望が増えていることをふまえ、たかのす校で実施している将来につながる学習を紹介します。

今年度は7月までの間に、中学部・高等部では実習を、小学部は全員で清掃活動を行いました。日頃の学習で積み重ねてきた様々な力を発揮しています。

中学部の前期校内実習

中学部では5日間の前期校内実習を行いました。1日を通して製品作りや農作業、除草活動などに取り組んでいます。「実習」であることを生徒たちも意識し、長時間の活動に緊張感をもって集中していました。



パルプのミキサー掛け



パルプの計量

中学部、高等部の実習の様子については、

たかのす校進路指導部報「鷹乃学習（たか すなわち わざをなす）」第2号で紹介しています。たかのす校ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



高等部の前期校内・現場実習

1年生は校地内の除草作業や受託作業の注射器分解を行いました。2年生、3年生は現場実習を行いました。体験したことのない業種に挑戦して将来の視野を広げたり、卒業後の通勤を想定して公共交通機関の利用に挑戦したりなど、働くことに必要な力を再確認できました。



野菜の袋詰め



小学部合同清掃

小学部は1～6年生全員で体育館や廊下、学校周辺のクリーンアップを行いました。道具の扱い方や掃除の仕方などを覚え、友達と協力しながらモップ掛けやスリッパ拭き、ごみ拾いなどをしました。どの児童も自分の役割をしっかりと果たしていました。

スリッパ拭き



体育館のモップ掛け



秋田県立比内支援学校たかのす校

教育相談、
学校見学、
体験学習等
随時受け付けて
おります。

担当：副校長 佐藤 大
地域支援部主任 伊藤 綾華



〒018-3452

北秋田市七日市字家向49の内

TEL: 0186-66-2128

FAX: 0186-60-2102

E-mail: takanosu-s@akita-pref.ed.jp

